

# 進路通信 No.10

## 第1部

平成29年2月

○ 赤穂高校 ○

進路指導部



### ☆新たな課題に挑戦！☆



#### ◆学年末に向けて気持ちを引き締めよう◆

2月は1年の中でも一番寒い季節です。一方で大学の一般入試が多く行われます。受験生にとっては正念場で緊張しているでしょうが、精一杯実力を発揮してもらいたいものです。学校は3年生が自由登校になったので少し静かに感じます。

今月はマラソン大会や特色選抜入試、卒業式など行事が数多くあります。落ち着いて家庭学習に取り組むことができていますでしょうか。朝、布団から出たくない、少しくらいさぼっても、という怠け心、失敗をしたときにすぐ言い訳をする癖、だらだらとゲームばかりする癖。私たちの心の奥には、たくさんの悪習、悪癖が潜んでいます。2月3日は節分です。この機会に、心の中にいる鬼退治をしましょう。

高校入試などにより3月の授業は少なくなるので、特に今月の授業は集中して受けましょう。

あと少しで今年度は終わってしまいます。この1年間でどれだけ成長できたでしょうか。次年度は、目標を高く掲げて、さらに自分自身を向上させましょう。

#### これが大学入試センター試験だ！

3年生の先輩はちょうど受験の真只中。ちょうど1年前にあたる2年生も、そろそろ「受験生」としての自覚を持とう。

#### 位置づけ

#### 出題範囲

国公立大一般入試（一部を除く）では、各大学・学部が実施する個別学力検査の前に、1次試験として必ず受けなければならない。また、近年では私立大でもセンター試験利用入試を課す場合が増えてきており、その数は全私立大の約8割にもなる。そのため、今や進学をめざす受験生にとって、受験するのが当たり前とも言える存在になっている。

センター試験の問題は、高校の全履修範囲のうち、高1・高2で学習した内容が全体の4分の3以上を占めると言われる。また、入試問題とはいえ基礎の定着度を測るテストなので、問題は基礎事項が中心。つまり、高2までの基本的な学習内容がしっかり押さえられていれば十分対応できる。

#### 日程・出題科目

#### 受験科目数

例年、1月13日以降の最初の土日2日間にわたって実施される。現2年生が受験する平成30年度センター試験は、1月13日（土）、14日（日）に実施予定。センター試験では、実施科目の中から志望校の入試に必要な科目を受験する必要があるため、志望校研究を行う際には、入試科目にも注目しておこう。

国立大の大半がセンター試験で5教科7科目以上を課している。国立大進学を視野に入れるなら、7科目受験はほぼ前提と考えて問題ないだろう。このような総合力勝負でポイントになるのは、苦手科目の克服。他と比べて大きく得点が低い科目や苦手意識の強い科目があれば、今のうちに徹底的に対策・補強しておこう。

#### 受験者数

センター試験は約50万人が受験する。進研模試などの模擬試験も、全国の高校生が受けるテスト。その結果から、全国での自分の位置を把握し、具体的な目標や対策を立てよう。

## 2月の行事

- 1(水) 清掃担当区分変更  
公開授業週間(～10(金))  
1～3限45分授業  
4限スマートフォン講習会
- 2(木) マラソン大会
- 3(金) マラソン大会予備日
- 6(月) キャンパスカウンセリング
- 11(土) 建国記念の日  
2年生進研マーク模試

初めてのマーク式、1年後のセンター試験に向けた模試です。センターと同じ時間、配点なので、これを受験勉強のスタートと考え、今までの模試などを見直すなどの準備をしておこう。

- 14(火) 45分×4限+大掃除、検査場準備  
生徒13時校舎外へ  
17時完全下校
- 15(水) 特色選抜入試
- 16(木) 教育相談週間(～22(水))
- 17(金) 生徒会予算締め切り
- 20(月) 9:00～45分×6限授業  
特色選抜合格発表
- 22(水) 大掃除、卒業式会場準備  
3年登校日
- 23(木) 学年末考査

今年度最後の定期考査です。年度の締めくくりとして納得のいく結果を残そう。

- 24(金) 学年末考査
- 25(土) 国公立大前期日程試験

国公立大の個別試験です。合格発表は公立大3/1～国立大3/6～です。最後まであきらめず、全力を尽くしてもらいたい。

- 27(月) 学年末考査  
卒業式予行  
表彰式、記念品贈呈式
- 28(火) 卒業証書授与式



## 次年度に向けて 今年度を振り返ろう

### 目標を立てよう

#### 学習習慣について

時間～平日は2時間、休日は3時間を目標に  
内容～予習→授業→復習のサイクルを徹底

#### 生活習慣について

毎日決まった時間に学習する

#### 進路について

志望校を考える

### チェックしよう～つまづきのもと～

#### 学習習慣について

- 定期試験の復習は誤答箇所の確認だけ
- 自宅学習をほとんどしていない  辞書を引かない
- 授業中、先生の説明を書かない  友達の宿題を写す
- 模擬試験の復習はしない  授業中、板書写しだけ
- わからなければあきらめる  予習はほとんどしない
- 教科書ガイドを写すだけ  復習はほとんどしない
- 定期試験対策は直前のみ

#### 生活習慣について

- 学習を始める時間は決まっていない
- ゲーム、スマホを2時間以上手にする
- 「起床時間」「就寝時間」が毎日バラバラ

#### 進路について

- 職業、学問を調べない
- 「受験勉強を始めるのはまだ先でよい」と思う

誰でも勉強に身が入らないときはあります。

そのようなときに限って、『周りに流されて』とか『部活動が大変で』と言い訳を探してしまいます。そして、『4月になったら頑張ろう』と後回しにします。しかし、それでは4月になっても何も具体的に始められません。

自分の甘さに気付いている人や、将来の夢を諦めたくないと思う人は、今から、小さなことから、1つ、頑張りはじめよう。

## お知らせ

センター試験の状況を別紙に載せました。今年度も現役生中心の試験となりました。昨年と比べた科目平均点の大幅な変化は、英語、数ⅡB、倫理が上がり、国語、リスニング、生物が下がりました。平均点では、文系が少し高くなり、理系が少し低くなりました。文低理高の傾向は昨年に引き続き少し緩みました。900点換算では高得点層が厚く、中間層が少なくなりました。

# 進路通信 No.10

第2部

平成29年2月

○ 赤穂高校 ○

進路指導部

## 2017年度 大学入試センター試験平均点速報 各科目平均点

教科	科目	2017年度 センター中間集計	2016年度 センター発表
国語	国語	103.45	129.39
数学	数学Ⅰ・数学A	62.74	55.27
	数学Ⅱ・数学B	55.10	47.92
外国語	英語 筆記	125.29	112.43
	英語 リスニング	28.41	30.81
地理・歴史	世界史B	67.24	67.25
	日本史B	60.92	65.55
	地理B	63.84	60.1
公民	倫理	55.00	51.84
	政治経済	65.23	59.97
	現代社会	60.01	54.53
	倫理・政経	66.56	60.5
理科	物理	63.26	61.7
	化学	53.17	54.48
	生物	69.64	63.62
	地学	54.81	38.64

### 文系5教科 900点満点予想平均点

●英語(200点)、国語(200点)、数学(1+2)(200点)、(地歴・公民)×2(200点)、理科(100点)

ベネッセ 553 河合塾 546 東進 550

### 理系5教科 900点満点予想平均点

●英語(200点)、国語(200点)、数学(1+2)(200点)、地歴 or 公民(100点)、理科×2(200点)

ベネッセ 560 河合塾 560 東進 557

英語は、筆記+リスニングの合計250点満点を200点満点に圧縮。

# 2017 年度センター試験問題講評要約

## 国語

— 古文で和歌が復活し、漢文で日本漢文が出題された。オーソドックスな出題で昨年より難化 —

問題文の分量は全体として昨年とほぼ同程度、現代文では3行選択肢も多く、読みとりに一定の時間を要した。問題文・設問全体としての難易は、平均点の高かった昨年に比べて難化した。また、現代文・古典ともに、文章全体の主旨や主題を把握する力が必要とされた。

## 数学I・A

— 昨年と同様の問題構成。確率で適当な事象を選ぶ設問があった。昨年よりやや易化 —

大問数、配点は昨年と同様。計算量は昨年並。「場合の数と確率」では、和事象となる排反な事象を複数選択させる問題が出題され、和事象や排反事象の正確な理解が問われた。また、昨年出題のなかった2次関数の最小値を問う問題が出題された。昨年よりやや易化。

## 数学II・B

— 複数の大問で、異なる分野の知識を用いる力が試された。昨年よりやや易化 —

問題構成は昨年と同様。問題量は昨年並であるが、計算量はやや減少した。また、解答欄に記号をマークする問題が比較的多く見られた。第1問〔2〕では2年間出題のなかった「図形と方程式」の知識を用いる問題が、「指数関数・対数関数」をテーマとした大問で出題された。他の大問でも複数分野の知識を適切に用いる力が試された。昨年よりやや易化。

## 英語

(筆記)

— 物語は出題継続。英文の内容を大づかみさせる傾向が一層顕著に。昨年よりやや易化 —

グラフや生活情報、論説に加え、昨年9年ぶりに復活した物語が今年も出題され、行間の意味を推測するなど素材に応じた読み方が求められた。全体的に概要を問う問題の出題が多く、現行課程で重視される英文の内容を素早く大づかみする力が一層求められた。

(リスニング)

— 実践的な英語力に加え、音声 + 非連続テキストの同時処理が鍵に。昨年よりやや難化 —

文字情報と音声情報を組み合わせて答える問題や、話し合いの場面が出題され、場面に応じた聞き取りを要する実践的な英語力が求められた。昨年よりも情報量が多い非連続テキストと音声情報を同時に把握し、処理する必要があったため、昨年よりやや難化。